

令和3年 新年のあいさつ

謹賀新年

議会力、議員力の向上を目指します

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。
町民の皆さまには、輝かしい令和3年の新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。
また、日ごろより、議会に對しまして、深い御理解と御協力を賜り、心よりお礼申し上げます。
昨年は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、国内外で、外出の自粛要請や緊急事態宣言が行われ、私たちの日常も、「新しい生活様式」が定着し、人ひとりのつながり方、働き方が大きく変化をしました。
町では、地域活性化を図るため、プレミアム付き商品券の販売や「#杉戸エール飯」など、様々な事業を行いました。
また、その一方で、昌平高等学校の多くの部活動が活躍し、全国大会に出場を決めた明るい話題もありました。
こうした中、国では、安倍政権を継



杉戸町議会議長
濱田 章一

承した菅内閣が誕生し、新型コロナウイルス対策と経済の両立を最優先に、デジタル化社会の実現など、「国民のために働く内閣」としてスタートを切りました。町でも、将来の基本構想となる「第6次総合振興計画」の策定を行い、令和3年度から各種施策が新たにスタートします。
また、主要な事業であります東武動物公園駅東口通り線の整備をはじめ、子育て支援、災害対策など、着実に事業を進めています。
議会といたしましても、二元代表制のもと、「わかりやすい、開かれた議会」をより一層目指し、議会のあり方や役割を再認識するとともに、引き続き、先進事例の提案や行政のチェックを行いながら、丁寧に議論、審議を行い、議会力、議員力の向上を目指します。
今年も、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、議会運営を進めてまいりますので、どうか変わらぬ御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。
結びに、「東京2020オリンピック・パラリンピック」が、感動と共に開催されることを願うとともに、この難局を、創意工夫で乗り越え、新しい年が、明るく、幸多き年になりますよう心より御祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。

「夢」へ・・・さらに加速 みんなでつくろう 新しい暮らしを・・・



杉戸町長
古谷 松雄

明けましておめでとうございます。
町民の皆様には、希望に満ちた新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。
また、昨年は、長期化する新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、町民の皆様には、不要不急の外出自粛要請、臨時休校及び各公共施設の閉鎖などに對しまして、御理解・御協力頂きましたことに改めて感謝申し上げます。
しかし、未知なるウイルスへの脅威が去ったわけではありません。引き続き、新しい生活様式を積極的に取り入れて頂き、この難局を「オール杉戸」で乗り越えていきましょう。
さて、改めて昨年を振り返りますと、4月1日から、町内巡回バス「あいあい号」の運行をリニューアルし、併せて新車両を導入しコースを増やしたことで、利便性が向上し、多くの方から親しまれております。
また、大落古利根川河畔では、川の国埼玉はつらつプロジェクトにより、散策路及び見晴らしデッキが完成し、カヌー等の体験教室が開催されました。今後は、水辺空間の活用策を検討する協議会「ミズベリングすぎと」を中心に、水上のアクティビティに触れる機会や護岸の有効活用を企画してまいります。
杉戸町の資源をフル活用しながら、中心市街地の新たな賑わいの創出に向け、「夢」実現のため、さらに加速した検討を進めてまいります。
そして、今年も、引き続き、新型コロナウイルス感染症の収束に向けた対策はもちろんのこと、少子高齢化・人口減少などの大きな課題に正面から向き合い、大きな夢に向かって、果敢にチャレンジしてまいります。
大好きな杉戸町が更なる飛躍の年となるよう、未来に向かって、さらに、まちづくりに取り組んでまいりますので、町民の皆様には、より一層の御理解・御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。
結びに、町民の皆様一人ひとりととりまして、実り多き素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

杉戸宿の歴史とコラボしたイベントの実施はもちろんのこと、水辺資源を最大限に生かし、中心市街地の新たな観光スポットとして、観光人口・往来人口の拡大へと繋がるムーブメントを巻き起こしていきたいと考えております。
さらに、町の顔となる東武動物公園駅東口通り線においては、用地買収が着々と進み、シンボルストリートの形成に向け順調に進んでおります。
隣接する旧杉戸小学校跡地（現在の中央公民館周辺）においても、「広場が中心の多世代が憩い、利活用できる公共空間」を基本方針とし、民間活力を導入した拠点整備の可能性を検討するため、サウンディング型市場調査に取りかかりました。